

兵庫県のり漁場環境情報 (淡路周辺海域 5号)

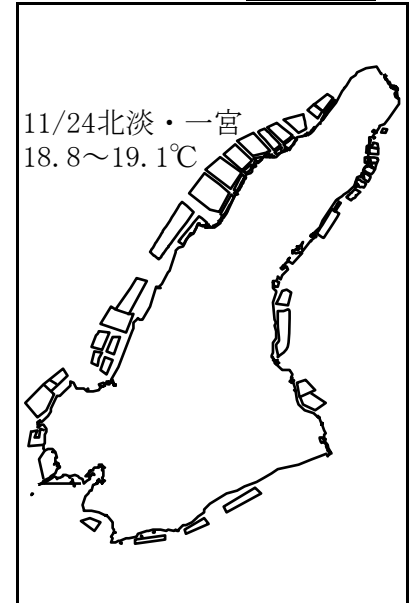
2020年11月26日発行
兵庫のり研究所

大型珪藻コシノディスカスは一部漁場を除き確認される程度にまで減少しており、それ以外の珪藻もほとんど見られません。窒素は、淡路周辺海域全域で概ね $2 \mu\text{g-at}/\text{台}$ となっています。

(珪藻ほか)

コシノディスカスは北淡一宮で海水1Lあたり50~100細胞、それ以外の海域では確認される程度であった。灘漁場ではコシノディスカスが170細胞と依然やや多く窒素は低い状況にある。鳥飼~湊漁場、炬口~由良漁場のサンプルではノクチルカ(夜光虫)の影響もあり栄養塩はやや高い値を示したが、淡路周辺海域の窒素は全般に $2 \mu\text{g-at}/\text{L台}$ で前回(11/18)調査時より少し上昇している。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	1.2	3.4	6.5	4.9
	リン	0.28	0.51	0.59	0.53
西浦地先	窒素	1.8	2.5	5.9	4.2
	リン	0.44	0.65	0.63	0.61
南浦地先	窒素	3.7	2.7	5.5	4.4
	リン	0.94	0.60	0.59	0.56

(11/18)

(11/25)

栄養塩(窒素) 図

2020年11月25日調査

